

シリーズ 縄文の風土記 wind of jomon

国宝土偶「縄文の女神」が生まれた、縄文時代や縄文文化などをシリーズで紹介していきます。



髪結いをした縄文人〔創作〕
(うたきむ風土記の丘考古博物館：蔵)



石とメノウのアクセサリー〔押出遺跡出土〕
(うたきむ風土記の丘考古博物館：蔵)

【縄文人の姿】

遺跡から出土した人骨の研究から、縄文人の顔は角張っていて鼻は高く、唇が厚いなどの特徴を持つとされています。また、結髪を表現している土偶や縄文時代のクシも各地から出土しており、縄文人は髪を結ったりもしていたようです。

さらに、縄文人はアクセサリーも身につけていました。アクセサリーは足輪、耳飾り、ペンダントや腰飾りと種類も豊富で、素材もヒスイやコハクをはじめ、種々の石、貝、骨と多岐にわたっています。舟形町の西ノ前遺跡からも石製の腕輪などが出土しています。

アクセサリーの出土が他の生活用具に比べて多いことなどから、縄文人はおしゃれに対して関心が深かったようです。

縄文Q&A?

Q. アクセサリーはどうやって作ったの？

A. 石を削ったり、ねん土を焼いたりして作りしました。ほかに、動物の牙を使ったペンダントやシカの角を使った髪飾り、貝を使った腕飾りなどを作りしました。

おしゃれの目的のほかに、不思議な力を身につけるなど、お祈りの目的もあったと思います。

縄文 ご当地 ビデオレター

今月の縄文の女神

現在、東京国立博物館へ出張しています。

この特別展「縄文」では、日本列島の北から南まで、各地で育まれた「縄文の美」を紹介しています。各地の所蔵者のみなさんから、東京に旅する貴重な文化財へ送られた応援メッセージがホームページでご覧になります。山形県立博物館からのメッセージもあります。
<http://jomon-kodo.jp/movie.html>

▼問い合わせ

東京国立博物館

03(3822)1111



～8月の主な行事予定～

- 4日 縄文の女神の日
縄文炎祭(ふながた女神の丘)
- 4・5日 縄文の女神まつり(B&G海洋センター)
- 5日 第1回最上小国川鮎釣り甲子園大会(一の関地内)
- 8日 小学校水泳記録会(舟形小学校)
- 14日 成人式(中央公民館)
- 24日 奉納さばね山相撲大会・小学校相撲大会
(4年生以上、猿羽根山相撲場)
- 31日 小学校相撲大会(3年生以下、舟形小学校)

7月に入り、連日30度を超える日が続いています。みなさん、熱中症には気を付けてください。

そんな中、私は高校野球を見る機会がありました。この暑さに負けず、目標のため、チームのために全力でプレーする球児たちに感動させられた7月でした。

(なお)

P.S

あとがき
postscript

